

I 座標平面上の3点 $A(-2, 0)$, $B(2, 0)$, $C(1, 4)$ が与えられ, 点 P , Q , R をそれぞれ辺 AB , BC , CA 上の点とする。

$$t = \frac{AP}{AB}, u = \frac{BQ}{BC}, v = \frac{CR}{CA}$$

としたとき, $\triangle PQR$ が R を直角の頂点とする直角二等辺三角形になるには

$$u - \boxed{(1)} v + \boxed{(2)} = 0, \quad \boxed{(3)} t - \boxed{(4)} u - v + 1 = 0$$

となることが必要である。このとき $\triangle PQR$ の面積は

$$t = \frac{\boxed{(5)} \boxed{(6)}}{\boxed{(7)} \boxed{(8)}}$$

のとき最小になる。

II 2つの自然数 a, b の関係 $a \prec b$ を次のように定める。素数を小さい順に $p_1 = 2, p_2 = 3, p_3 = 5, \dots$ とし、 a, b の素因数分解を

$$a = p_1^{i_1} p_2^{i_2} \cdots p_m^{i_m}, \quad b = q_1^{j_1} q_2^{j_2} \cdots q_n^{j_n}$$

と表す。ただし i_k ($1 \leq k \leq m$), j_l ($1 \leq l \leq n$) は0以上の整数とし、 $i_m \neq 0, j_n \neq 0$ である。以下では $i_0 = i_{m+1} = i_{m+2} = \cdots = 0, j_0 = j_{n+1} = j_{n+2} = \cdots = 0$ とする。ここで次のいずれかの条件が満たされるとき $a \prec b$ とする。

$$(1) \quad i_1 + i_2 + \cdots + i_m > j_1 + j_2 + \cdots + j_n,$$

$$(2) \quad i_1 + i_2 + \cdots + i_m = j_1 + j_2 + \cdots + j_n \text{ であり, ある } k \text{ (} 1 \leq k \leq m \text{) で}$$

$$i_0 = j_0, i_1 = j_1, i_2 = j_2, \dots, i_{k-1} = j_{k-1}, i_k > j_k$$

となる。

このとき b は \prec に関して a より大きいという。 $2 \leq N \leq 50$ なる自然数 N で \prec に関して最大の数は $\boxed{(9)}\boxed{(10)}$ であり、 \prec に関して小さいほうから 10 番目の数は $\boxed{(11)}\boxed{(12)}$ である。

III 次の **1**, **2** のうち、いずれか1問を選択し答えなさい。選択した問題の番号を $\boxed{}$ (13) に記入し、**1** を選んだ場合は解答欄の $\boxed{}$ (14) から $\boxed{}$ (19) に、**2** を選んだ場合は $\boxed{}$ (20) から $\boxed{}$ (33) に答えなさい。

1 $\triangle ABC$ の頂点 A, B, C の位置ベクトルを $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ とする。 $\triangle ABC$ に含まれる点 P の位置ベクトル \vec{p} が

$$\vec{p} = \frac{\boxed{} \text{ (14)}}{\boxed{} \text{ (15)}} \vec{a} + \frac{1}{2} \vec{b} + \frac{1}{3} \vec{c}$$

であるとき、AP の延長と BC との交点を Q とすると

$$\frac{BQ}{QC} = \frac{\boxed{} \text{ (16)} \boxed{} \text{ (17)}}{\boxed{} \text{ (18)} \boxed{} \text{ (19)}}$$

である。

2 次の2つのプログラムは2つの自然数 A, B を入力したとき, ある自然数 N を出力する。2つのプログラムで同じ N が出力されるように2つ目のプログラムを完成させなさい。プログラムの中の空欄には選択肢から最も適切なものを選びその番号を答えなさい。

プログラム 1

```

100 INPUT A, B
110 FOR N=A TO 1 STEP -1
120 IF A-N * INT(A/N) <> 0 THEN GOTO 160
130 IF B-N * INT(B/N) <> 0 THEN GOTO 160
140 PRINT N
150 GOTO 170
160 NEXT N
170 END

```

プログラム 2

```

100 INPUT A, B
110 LET N= A
120 IF INT(B/N) * N < B THEN
130 LET N=N - 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|


140 GOTO 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|


150 END IF
160 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

 INT( 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

 /N) * N < 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

 THEN
170 LET N=N - 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|


180 GOTO 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|


190 

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|


200 PRINT N
210 END

```

[選択肢]

(01) A	(02) B	(03) N	(04) GOTO	(05) THEN
(06) PRINT	(07) IF	(08) ELSEIF	(09) END	(10) END IF
(11) INT	(12) FOR	(13) LET	(14) NEXT	(15) 100
(16) 110	(17) 120	(18) 130	(19) 140	(20) 150
(21) 160	(22) 170	(23) 180	(24) 190	(25) 200
(26) 210	(27) -1	(28) 0	(29) 1	(30) 2

IV a, b を 2 以上の自然数とするとき

$$a^{(a^a)} = b^b$$

となる a, b は存在しないことを示す。以下の証明の空欄に選択肢から最も適切なものを選びその番号を解答欄に記入しなさい。

証明：存在を仮定して矛盾を導く。 $b = a^x$, $x > 0$, と表すと $b^b = (a^x)^{(a^x)} = a^{xa^x}$ より

$$a^a = \boxed{(34)(35)} a^x = x \boxed{(36)(37)}$$

となる。これより x が $\boxed{(38)(39)}$ であることが分かる。

$$(a-1)a^{(a-1)} = \left(1 - \frac{1}{a}\right)a^a < a^a < a \cdot a^a$$

であるので

$$(a^{a-1})^{(a^{a-1})} < b \boxed{(40)(41)} < (a \boxed{(42)(43)})^{(a^a)}$$

となる。 $f(t) = t^t$ ($t \geq 2$) が単調増加であることに注意すれば

$$a \boxed{(44)(45)} < b < a \boxed{(46)(47)}$$

となる。よって

$$\boxed{(48)(49)} < x < \boxed{(50)(51)}$$

となり x は $\boxed{(52)(53)}$ でない。ところで x および $a-x$ が $\boxed{(38)(39)}$ であることから、互いに素な整数 p, q ($q \neq 0$) および m, n ($n \neq 0$) がとれて

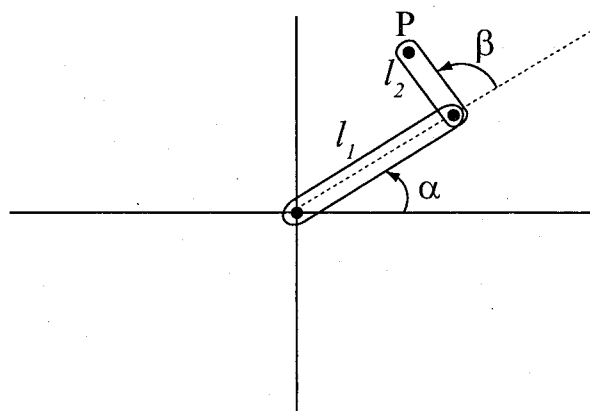
$$\frac{p}{q} = x = a^{a-x} = a^{\frac{m}{n}}$$

と書ける。したがって $a^m = \frac{p^n}{q^n}$ となり、 $q = \boxed{(54)(55)}$ となる。 x は $\boxed{(56)(57)}$ となり先ほどの結果と矛盾する。

[選択肢]

- | | | | | |
|--------------|--------------|----------|--------------|--------------|
| (01) -2 | (02) -1 | (03) 0 | (04) 1 | (05) 2 |
| (06) $a - 2$ | (07) $a - 1$ | (08) a | (09) $a + 1$ | (10) $a + 2$ |
| (11) $b - 2$ | (12) $b - 1$ | (13) b | (14) $b + 1$ | (15) $b + 2$ |
| (16) $x - 2$ | (17) $x - 1$ | (18) x | (19) $x + 1$ | (20) $x + 2$ |
| (21) 自然数 | (22) 有理数 | (23) 無理数 | (24) 正の数 | (25) 負の数 |

V 図のような xy 平面上を動く産業用ロボットアームがある。アームの長さをそれぞれ $l_1 = \sqrt{2}$, $l_2 = \frac{\sqrt{2}}{2}$ とし, アームの角度 α , β を反時計まわりに図のように定める。いま アームの角度は時刻 t とともに $\alpha = \pi t$, $\beta = k\pi t$ と変化し, t は $0 \leq t \leq 2$ を動く。



$k = 1$ のとき点 P が y 軸上にのるのは $\boxed{(58)}$ 回である。また $k = 2$ のとき, 点 P が y 軸上にのるとき, t は

$$\boxed{(59)}\boxed{(60)} (\cos \pi t)^3 - \cos \pi t = 0$$

を満たす。このことから点 P が y 軸上にのるのは $\boxed{(61)}$ 回である。

平成20(2008)年度 環境情報学部 問題訂正

誤	→	正
<p>p.4 II 3行目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ q 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ p (訂正についての説明:すべての q を p に換える)
<p>p.5 III 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (条件追加) 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ A, B, C はいずれも原点でないとする。